

令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」
調査報告書

令和2年3月

彩の川研究会

はじめに

この報告書は、令和元年度に彩の川研究会が実施した「埼玉県内の河川源流を訪ねて」調査の結果をとりまとめたものである。

埼玉県内には 162 の一級河川がある。利根川、江戸川を除いた大半の河川が県内に源を発している。これらの河川の起点と実際に水の流れる源流は異なっていることが多い。

目の前を流れる川の源流を、普段は目にすることはなかなかない。そこで、県内河川の源流の状況および周辺の様子等を調査し、報告書にまとめて身近な河川として紹介し、「河川への親しみ」「河川事業への理解」を醸成することにより、県民に、川をより身近に感じ親しみを持ってもらうとともに、河川事業への関心と理解をより一層深めてもらうことにつなげたい。県民に広く河川事業への関心と理解を深めてもらうことを目的に調査を実施したものである。

調査結果は、一般県民にも分かり易い冊子に取りまとめ、これらの成果を国や県の関係機関に提供するとともに、県内図書館等に寄贈する。また、インターネットでの公開やイベント等に参加してパネル展示や情報提供する。このことにより、広く県民に河川の源流について紹介し、川やその流域への理解が深められることを期待するものである。

当研究会は、埼玉県在住の公益社団法人日本河川協会会員等で構成されており、川にかかわる知識と経験豊富な会員の能力を活用して調査委員会(代表関口吉男)を立ち上げ、県土整備事務所所管区域をベースに、5つの班を編成して調査にあたった。調査活動に際しては、文献・資料、聞き取りおよび現地調査を実施して、個別の調査票にとりまとめた。

この報告書に手をふれることにより、それぞれの地域の河川について再認識し、県民・流域住民の方々が「地域と川への理解」と「河川事業への理解」を少しでも深めていただければ幸いである。

彩の川研究会 会長

池 田 秀 生

令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」調査報告書

目 次

第1章 調査概要	1
1-1. 調査の目的	1
1-2. 調査の内容	1
1-3. 調査実施体制	1
1-4. 調査の方法	2
第2章 「河川源流」のあらまし	4
2-1. 調査・整理件数	4
2-2. 「河川源流」の特徴	9
第3章 地域別の「河川源流」	14
3-1. さいたま・越谷	14
3-2. 朝霞・川越	18
3-3. 飯能・東松山・秩父	23
3-4. 本庄・熊谷・北本	27
3-5. 行田・杉戸	31
資料編 (調査票)	35
さいたま・越谷	37
朝霞・川越	69
飯能・東松山・秩父	94
本庄・熊谷・北本	115
行田・杉戸	136

■彩の川研究会の調査研究実績

彩の川研究会は、埼玉県内を対象に治水・利水・環境および河川文化を学習し、彩の川の川づくりに寄与するとともに、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的に、平成 11 年に設立された。

設立以来、下記の調査研究を実施し、その成果についての報告書を取りまとめて、国や県の河川関係機関に提供するとともに、県内図書館等に寄贈し、県民の「川への親しみ」と「河川事業への理解」を醸成することに努めてきている。平成 30 年には当研究会活動が認められ、埼玉県知事表彰を受けた。

〈彩の川研究会調査実績一覧表〉

年 度	調 査 研 究 内 容	備 考
平成 11 年	県内に残る「煉瓦造り樋管」についての調査研究	調査結果から3か所が土木遺産認定
平成 12 年	県内に残る「旧堤防」についての調査研究	
平成 13 年	同上	
平成 14 年	不老川および河川学習についての調査研究	
平成 15 年	県内に残る「川に係わる碑文」についての調査研究	
平成 16 年	県内の「碑文に見る川の歴史」についての調査研究	
平成 17 年	同上	
平成 18 年	県内の「川と祭り」に関する調査研究	
平成 19 年	同上	
平成 20 年	水防拠点としての「鎮守の森」に関する調査研究	
平成 21 年	水防拠点としての「鎮守の森・水塚」に関する調査研究	
平成 22 年	「川にまつわる郷土史」に関する調査研究	
平成 23 年	同上	
平成 24 年	県内の「親しみやすい水辺」に関する調査研究	
平成 25 年	埼玉県内の調節池等の役割と活用状況に関する調査研究	河川財団表彰
平成 26 年	埼玉の舟運と現在も残っている河岸の歴史に関する調査研究	河川財団表彰
平成 27 年	「埼玉県の城址と川」に関する調査研究	
平成 28 年	我が町の災害アーカイブス	河川財団表彰
平成 29 年	埼玉県内の「主要な治水施設」に関する調査研究	
平成 30 年	「彩の川さんぽ」に関する調査研究	

※これらのデータは彩の川研究会のホームページの「これまでの調査研究」でご覧いただけます。www.sainokawa.jp/

※なお、各年度とも資料編付きの本編と資料編を除いた概要版の2分冊を作成しています。

●編集委員会

この報告書の編集は、彩の川研究会・令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」調査委員会のメンバーが編集委員会を開催してとりまとめた。

代 表 関口吉男 顧問 小林寿朗 相談役 木内勝司、桑島弘治
委 員 池田秀生、石島 威、石田喜代志、荻野隆一、久保田浩二、小林一夫
園田誠司、内藤敏夫、林 雅知、原 正明

令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」調査報告書

令和2年3月

編 集 令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」編集委員会
発 行 彩の川研究会

問合せ先 彩の川研究会事務局 TEL 090-7907-7334
〒344-0116 春日部市大袈 496-128

※令和元年度「埼玉県内の河川源流を訪ねて」の調査研究は、公益財団法人河川財団による河川整備基金助成事業の助成を得て行った。

※調査票で位置図として使用している地図は、(C)OPeNBook の許諾を得た。